

# 連合山形ニュース

RENGO YAMAGATA NEWS



日本労働組合総連合会  
山形県連合会

〒990-0044  
山形市木の実町12-37 大手門パルズ内  
☎ 023-625-0555 FAX. 023-624-7661  
メールアドレス: info@yamagata.jtuc-rengo.jp  
発行人/船山 整 編集人/佐藤 均



組織内部討議資料 No.166 2022年9月1日

ホームページアドレス: <https://www.rengo-yamagata.jp/>

2022年10月6日から

## 山形県の最低賃金は 時給 854円 目安プラス2円の32円UP!

山形県最低賃金審議会は、6月28日に山形労働局長から山形県最低賃金の改正に向けた審議について諮問を受け、7月25日から8月9日まで計6回、山形地方最低賃金専門部会において具体的な金額審議を行いました。専門部会では、中央最低賃金審議会で示された目安額30円（Dランク）を2円上回る32円を引き上げる854円で採決を行った結果、公益側・労働側が賛成、使用者側が反対の賛成多数で決定し、8月10日に山形労働局長に答申を行いました。

連合は、労働の対価として相応しいナショナルミニマム水準への引上げと地域間格差の是正に向け、「誰もが時給1,000円」の到達を目標に取り組んでいます。今回の引上げ額32円は過去最高額であり、最低賃金近傍で働く者の労働条件改善と、隣県・都市部との格差改善が図られ、連合山形の社会的役割を果たしたものと考えます。署名運動や街宣行動への取り組みに感謝いたします。

2022年10月6日から改正後の時給854円が適用されます。

最低賃金を下回っていないかチェックしましょう!



D:佐賀 ¥853		C:福岡 ¥900		C:石川 ¥891		B:富山 ¥908		C:新潟 ¥890		D:北海道 ¥920	
D:長崎 ¥853		D:熊本 ¥853		D:大分 ¥854		D:宮崎 ¥853		D:鹿児島 ¥853		D:青森 ¥853	
D:秋田 ¥853		D:岩手 ¥854		D:山形 ¥854		C:宮城 ¥883		D:福島 ¥858		D:茨城 ¥911	
D:島根 ¥857		D:鳥取 ¥854		B:兵庫 ¥960		B:京都 ¥968		C:福井 ¥888		C:岐阜 ¥910	
B:広島 ¥930		C:岡山 ¥892		A:大阪 ¥1023		C:奈良 ¥896		B:三重 ¥933		C:群馬 ¥895	
D:愛媛 ¥853		C:香川 ¥878		C:和歌山 ¥889		A:愛知 ¥986		B:静岡 ¥944		B:栃木 ¥913	
D:高知 ¥853		C:徳島 ¥855								A:埼玉 ¥987	
										A:東京 ¥1072	
										A:千葉 ¥984	
										A:神奈川 ¥1071	
										全国加重平均 ¥961(+31)	
										目安±0円	
										目安+1円	
										目安+2円	
										目安+3円	
										都道府県数	
										25	
										9	
										8	
										5	

ランク	A	B	C	D
中央最低賃金審議会で示された目安額	31円	31円	30円	30円

目安±0円	目安+1円	目安+2円	目安+3円	
都道府県数	25	9	8	5

### ワークルール初級検定に挑戦しませんか?

受検申込は  
10月20日まで!

自分や仲間を守る、部下を守る、コンプライアンス~法令を守る!

正社員、パート、アルバイト、管理職の方々まで、誰でも職場で役立つ法律知識を身につけられます!

**検定日時** 11月27日(日) 11:00~11:45

**山形会場** 大手門パルズ3階 (山形市木の実町12-37)

**検定料** 2,900円(税込)

**受検申込** 組合員は所属組合・産別にご確認ください。

組合員以外の方は日本ワークルール検定協会公式WEBサイトから申込ください。



(協会公式WEBサイト)

# 2022.8豪雨災害

# 救援ボランティアに延べ92人が参加

8月3日から4日にかけての豪雨によって、山形県内では、道路・河川の損壊、家屋の浸水、農作物被害など甚大な被害を受けました。連合山形は8月4日に緊急災害対策本部を設置。5日に第1回緊急災害対策本部会議を開き、被災地救援ボランティア派遣および被害調査を実施することを確認しました。

構成組織を通じて実施した被害調査では、置賜地域を中心に、負傷された組員1人、家屋の浸水64件（床上浸水11件、床下浸水24件、詳細調査中29件）、事業所の浸水被害等10件を確認しています。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

8月6日からは救援ボランティア派遣を実施し、ボランティア募集を行っていた大江町、川西町、飯豊町に延べ92人を派遣し、家屋や敷地内の泥出し・清掃などを行いました。急な要請に対応いただきました構成組織、地域協議会の皆様に敬意を表します。

### 被害調査結果概要（8月末時点）

組員被害	負傷者（軽傷）		1人
	家屋	床上浸水	11件
		床下浸水	24件
		詳細調査中(床上・床下)	29件
事業所被害	浸水	7件	
	雨漏り	2件	
	J R鉄橋崩落	1件	

### 救援ボランティア派遣

計(延べ)92人

8月6日(土)	大江町	7人
7日(日)		7人
10日(水)	川西町	12人
11日(木)		14人
12日(金)	飯豊町	14人
16日(火)		22人
17日(水)		16人



①8/6大江町役場前。災害発生後初の土曜日に全体で140人のボランティアが県内から集まった。



②8/7大江町。最上川沿いの床上浸水した住宅の土砂を撤去。河川敷には堆積した土砂と被災家屋から運び出した土砂が積み上がった。



③8/10川西町。床上浸水した住宅の土砂を撤去。住宅前には土嚢袋が積み上がった。



⑤8/12飯豊町。住宅と裏山の間流れ込んだ土砂を撤去。広範囲かつ堆積量の多い現場をマンパワーと運搬機械でなんとか遂行した。



⑥8/16飯豊町。道路と建物の間の土砂を撤去。1mほど掘り下げると側溝が現れた。



④8/11川西町。床上浸水した住宅の土砂を撤去。猛暑の中、こまめに水分補給しながらの作業。



⑦8/17飯豊町。床下浸水した住宅の土砂を撤去。被災から2週間経ても手付かずの現場は多い。

8  
4~10

## 原爆パネル展 平和への願いを込めて

戦争・被爆体験を風化させないため、8月4日から10日まで、大手門パルズ1階エントランスで「原爆パネル展」を開催しました。会場には、原爆投下直後の広島・長崎の街並みや、被爆の影響、混乱の中の救援活動の様子などを映した写真パネルを24枚展示しました。

大手門パルズ内の学童保育を利用する親子は、立ち昇るきのこ雲の写真を見つめ、子「この写真見たことあるよ」、母「ママは『はだしのゲン』を思い出すな」、子「なにそれー」と会話をしていました。このパネル展が、平和の大切さを家族で話すきっかけとなり、戦争のない社会を次世代に引き継いでいく重要な運動であることを再認識した瞬間でした。



### NTT労組山形分会 小川 実己

私は3年前にも自組織の平和行動で沖縄に行きましたが、その時は戦争の悲劇を繰り返してはならない重要性を理解しつつも、どこか遠い昔のお話と捉えておりました。しかし今回はロシアのウクライナ軍事侵攻が続いている最中での平和学習でしたので、特に戦争が与える影響を感じながら活動に参加しました。

沖縄はきれいな海と豊かな文化体験ができ、観光地として人気ではありますが、沖縄県民の皆様はご先祖の戦争の歴史を語り継ぎつつ、米軍基地と隣り合わせで生活されています。私達にできることはこういった平和活動へ積極的に参加し、沖縄の話を周りとしつつ、国際社会の中で「戦争反対」の声を上げることだと考えます。



### 平和行動in沖縄 主な行程

- 6月22日(水) 移動日
- 6月23日(木) 連合平和オキナワ集会
- 6月24日(金) ピースフィールドワーク
- 6月25日(土) 移動日



## 平和行動 in 沖縄

～参加者の感想～



### 連合山形 坂井美由希

戦争と聞いて思い浮かぶのは、広島原爆でした。恥ずかしながら沖縄に戦争というイメージがあまりなく、今回初めて平和行動に参加しました。

ピースフィールドワークでは、糸数アブチラガマをはじめ、ひめゆり会館、平和祈念公園等を見学し、当時の状況を見ることが出来ました。それは、私が思い描いていたものではなく、とても心に刺さり頭から離れないものでした。アブチラガマでは、懐中電灯だけを頼りに真っ暗な道を進んだこと、ここでひめゆり学徒隊が病人のお世話をしていたこと、一つ一つが印象的でその中でも印象に残ったのが、ガイドさんに「ガマに入るときは勉強させてください。と頭の中で思いながら入ってください」と言われたことでした。山形に帰ってきた今でも、沖縄で体験したことを鮮明に覚えています。今回平和行動を通じてとても貴重な体験をしました。そして、決して忘れてはいけないことだと改めて思いました。



酒田飽海地協（東北電労庄内支部） 相馬 悠祐

1945年8月6日、広島に投下された原子爆弾により、町は壊滅的な被害を受け、罪のない多くの尊い命が一瞬にして奪われました。被爆から77年が経った今、各種行事に連合に集う仲間とともに参加し、改めて原子爆弾の威力や被爆の悲惨さを目や耳、心で体感しました。

各種行事の参加をとおして、「この国で原爆を二度と使用させない、抑止力としての保有は永久に平和は訪れない…」色々な方が話していたことで自らの考え方が変わりました。核兵器廃絶と真の平和を得るために自らが何をすることができるのか、今回出会った仲間の皆さんと考えながら今後の各種活動に取り組んでいきたいと思ひます。

UAゼンセン 後藤健一郎

私はこの度、派遣団として平和行動へ参加させていただき、初めて広島市を訪れました。

そこで平和記念公園周辺の慰霊碑や市内に残る被爆の痕跡などを目の当たりにし、多くの民間人を殺戮し、そこに住まう人々の暮らしを崩壊させたという事実に強い怒りと深い悲しみを覚えました。

その上で、ロシアによるウクライナ侵略や台湾海峡周辺の緊張の高まり等、日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、再び我が国が戦禍に巻き込まれない為には何が必要かについて改めて考えるきっかけとなりました。



# 平和行動 in 広島

～参加者の感想～

酒田共同火力労働組合 後藤 祐紀

「平和行動 in 広島」では、大変貴重な経験をさせていただきました。

被爆体験者からの証言では、「広島はどこにご遺体が眠っているかわからないので、平和記念公園を歩くときは頭を下げながら歩く」という言葉が印象的で、大変胸に刺さりました。

これまで戦争については、どこかで他人ゴトと考えていたように思いますが、被爆体験者からのリアルな話を聞いたことで、自分ゴトとして捉えるようになったと感じています。

人間が同じ過ちを繰り返さないために、私も私が今できることをやっていきたいと思ひます。



新庄最上地協（最上町職労） 今田 裕史

平和集会の中で、「被爆体験証言」として、当時15歳だった広島県原爆被害者団体協議会・原爆を語り継ぐ会の切明さんが、昭和20年8月6日に起きた出来事を、ご自身の記憶を辿りながら証言してくださいました。「広島平和記念公園は原爆が落ちた後の瓦礫を撤去することが難しかったため土を被せて埋めてしまった。あの下には犠牲者の遺骨が沢山埋まっている。だから私は平和記念公園を歩くときは踏んでしまつてごめんねと言いながら歩いている」「原爆ドームの近くにある折鶴タワーの展望エリアから平和記念公園のほうを見るとビルが沢山建っている、私はビルが墓標のように見える」と仰っていたことが心に残りました。

### 平和行動 in 広島 主な行程

8月4日（木）

山形出発、宮島散策

8月5日（金）

広島平和記念資料館見学、

連合ピースウォーク、

連合平和ヒロシマ集会（折鶴献納）

8月6日（土）

平和祈念式典参加、山形到着

鶴岡田川地協（水沢化学労組） **田中 秀成**

“今、この広島に立っているビルは墓標に見える。”被爆を語り継ぐ会の切明千枝子さんの言葉である。切明千枝子さん、93歳の言葉である。14歳の頃に、広島で被爆した切明さんの言葉が、今、この時代の私たちに届いている。いや、少なくとも私の耳には届いた。この77年間、世界では様々な闘争が起き、多様な病気が蔓延し、そして原子爆弾の数は増え続けている。それでもなお、この声を紡いでいかなければならない。そう思った。いや、そんな仲間を垣間見た3日間だった。



宮城興業労働組合 **中島 勝志**

戦争について学ぶために何処かに赴いたのは、恥ずかしながら高校の修学旅行以来でした。平和って素晴らしい、だから戦争は良くない、と単純な言葉では片付けられない過去が歴史に刻まれている事を、歳を重ねたいま改め実感できました。世界では今も戦争が起きており、それが発端となって日本に影響を及ぼしている事もあります。戦争は過去の事や対岸の火事ではなく、いま正に自分に降りかかっている事として当事者意識を持つべき課題である事を再認識しました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

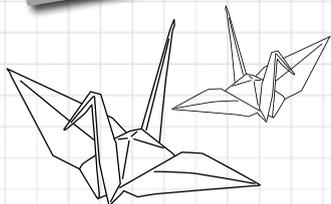
鶴岡田川地協 **屋代 高志**

初めての平和行動、初めての引率。単組にいた頃は平和行動と疎遠だった為か今回参加することになってもあまりピンと来なかったのが本音です。事前に日程表や行動費を受け取り、準備万端整えて当日を迎えました。ほぼすべての方と面識はなく初対面でしたので緊張がピークだったのは言うまでもありません。そのような中、天候不順や集会時間の延長といった事態が発生、日程表のすべてが白紙状態というハプニングが発生したのですが、参加者の方々は文句一つなく臨機応変に対応されていたのが印象的でした。ハプニングがあったからこそ連帯感が生まれ、難局を乗り越えることで達成感を感じられる、まさに労働組合の縮図のような平和行動だったと思います。連合広島の方々にはご丁寧に対応して頂き、被爆者体験談など感情を動かされ核兵器廃絶運動の大切さを再確認することが出来ました。

富士フィルムB | 山形労組 **黒沼 祥子**

広島と言えば原爆ドーム。一見観光地のように、77年前起こった惨劇を忘れてはならないと感じました。ピースウォークや平和集会にて、様々な方の話を聞いたことはとても貴重な体験で、改めて平和の尊さを感じ、恒久平和を願っていかねばならないと思った平和行動でした。

多々ハプニングに見舞われた旅となりましたが(笑)他組合員の方々との交流もとても楽しく思い出深い旅となりました！



NTT労組山形分会 **佐藤 葉子**

この度は、広島平和行動への参加の機会をいただき、心より感謝しております。

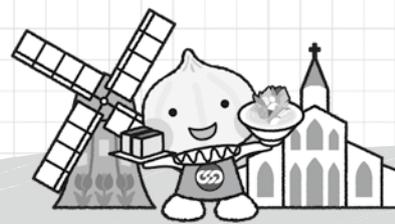
戦争が、実際ウクライナでも起こっている現状であり、戦争の悲惨さ・虚しさを痛烈に感じたところであり、改めて平和を願わずにはおれませんでした。

貴重な体験をさせていた組織と連合の皆さんに心より感謝申し上げます。



鶴岡田地協(スタンレー鶴岡労組) **木内 裕一**

平和行動で長崎を訪れ、被爆者や関係者の方の訴えやメッセージを拝聴し、ピースウォークや原爆資料館を見学したことで様々な現実を目の当たりにしました。原爆、戦争について理解しているつもりでしたが、77年前の酷暑の夏、長崎の方々が経験した惨劇は如何ほどの苦痛と悲しみがあつたのだろうと想像すると、悲しみが止まりませんでした。現代は平和な部分と、平和とはかけ離れた状態が入り混じる現実があり、このギャップを埋めるために平和行動で学んだことを広く周知し、現代に生きる私たち労働者の労働環境、生活環境の安定と向上に努めていきます。それが戦争を知らない現代に生きる私ができる平和行動です。



## 平和行動 in 長崎

～参加者の感想～



NTT労組山形分会 **井上 和良**

今回「連合平和行動 in 長崎」の、「爆心地公園のピースウォーク」、「原爆資料館見学」、「平和ナガサキ集会」等に参加してきました。被爆・終戦から77年が経過、敗戦国であり唯一の戦争被爆国であることを再確認し、改めて核廃絶・不戦を誓う行動となりました。現地ではいろいろな爆心地遺構等を見て戦争・核兵器の恐ろしさを感じましたが、特に「平和ナガサキ集会」での被爆者の訴えは、心に響き原子爆弾の恐ろしさ、脅威を認識させられました。これからも微力ではありますが、反戦・非核化行動につなげていきたいと思ひます。



東北電労山形支部 **本間 徹弥**

今回、平和行動に参加させていただき、被爆者の当時の体験や平和公園でのピースウォークを通じて、核兵器の恐ろしさ、悲惨さを痛感いたしました。このような被害が二度と繰り返すことがないよう、77年前の出来事を決して忘れず、次の世代へ受け継いでいくこと、更にはロシアのウクライナ軍事侵攻を踏まれば、世界にも被爆者の切なる思いを広げていくことが重要だと感じた。今後は平和に暮らすことできる尊さを噛みしめていきます。

**平和行動 in 長崎 主な行程**

- 8月8日(月)  
山形出発、連合平和ナガサキ集会、
- 8月9日(火)  
長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典参加、  
ピースウォーク(折鶴献納)、万灯流し
- 8月10日(水)  
出島散策、山形到着

**東北電労山形県本部 齋藤 和喜**  
 特に印象的なことを幾つか。「ピースウォーク」の際、とある女性ピースガイドが説明された後に自然と拍手が、自分の言葉で思いを持って語ることの大切さを改めて実感。万灯流しの際に、連合長崎事務局の方が参加への御礼として「このとき、この場所でしか感じられないことがある」とのお話し。そして長崎の圧倒的な暑さ。平和の尊さを改めて考える貴重な機会を与えてもらったこと、行動を共にした参加メンバーに感謝。



**山形地協（第一貨物労組） 岡田 洋輔**  
 太陽が照り付け、湿度も高い暑さの中「連合山形平和行動 in 長崎」に山形地協枠で参加させて頂きました。1日目の連合2022平和ナガサキ集会、2日目の平和祈念式典、原爆資料館見学、ピースウォーク、万灯流しなどに全国の仲間のみなさんとともに参加させて頂きました。  
 現在ロシアが核の脅威をウクライナだけではなく全世界に与えている中において、唯一の被爆国である、日本が核軍縮・廃絶に向けての訴えや取り組みを続けていくことの必要性和大切さを改めて感じました。  
 また、戦後77年が経ち、当時を知る人が少なくなっていることから、戦争・被爆経験などをどのように語り継いでいくのか、平和の大切さを子供たちにどう伝えていくのかを考えさせられる活動でした。

**酒田飽海地協（東北東ソー化学労組） 湊屋 輝明**  
 8月8日から10日までの3日間、被爆から77年を迎えた長崎へ8名の参加者とともに平和行動に参加してきました。長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典は感染症予防や昨今の警備事情等の関係で入場制限があったため入場はできませんでしたが、数々の史跡等を訪れたことで当時の緊迫した状況を知りあらためて戦争の怖さを感じました。世界情勢が不透明な中、核兵器の脅威と悲惨さを考えて広めていく事の重要性を認識させられました。



**連合山形 坂井美由希**  
 平和行動は沖縄に続き、今回は長崎にも事務局として参加しました。  
 事務局としては初めてで不安しかありませんでしたが、一緒に行動して下さった皆さんのおかげで、何事もなく無事に帰還できました。  
 原爆資料館で最初に目にしたのが原爆落下直後の時計でした。時計の形は曲がり、針はAM11:02で止まっていました。目を離すことも逸らすことも出来ず、しばらく見ていたのを覚えています。ピースウォークを通じ原爆の恐ろしさ、被爆者の悲惨さを感じました。二度と同じ事を繰り返さないためにも伝え続けることが私たちにできることだと思いました。



**iDeCoをはじめよう！家計を見直そう！**

# iDeCo・家計応援

## Wキャンペーン

2022 7.1<sup>金</sup>  
→ 12.30<sup>金</sup>

**iDeCo加入のチャンス！**

期間中、ろうきんでiDeCo  
(個人型確定拠出年金)に新規ご加入いただくと

**500<sup>+</sup>円分** QUOカードを  
プレゼント！

※「ろうきん iDeCo WEB 申込み」からお申込みされた場合は、お近くのろうきん窓口へお申し出ください。

**さらにWチャンス！**

期間中、ろうきんでiDeCoに新規ご加入いただいた方が、  
家計のキャッシュフロー表<sup>※</sup>を作成 他行・他社ローンの借換え試算を作成<sup>※</sup> いただくと

**もう1枚！ 500<sup>+</sup>円分** QUOカードを  
プレゼント！

※「家計のキャッシュフロー表」「他行・他社ローンの借換え試算」の両方を作成いただいた場合でも、追加のQUOカードのプレゼントは500円分1枚とさせていただきます。予めご了承ください。

**iDeCo についての注意**

※iDeCo 加入時、および加入時以降、受取りが完了するまで所定の手数料が必要です。※投資信託等のリスク性商品で運用を行う場合、運用結果により受取金額は掛金元本の累計を下回る場合があります。※2022年9月末まで企業型確定拠出年金(企業型DC)実施企業では、「マッチング拠出を行わない」かつ「企業型DC規約に個人型DCに加入できる旨が定められている」場合に限り、iDeCoに加入が可能です。また、この場合、企業型DCの拠出限度額はiDeCoの拠出限度額が減額されます。※本資料は、作成基準日現在の法令に基づいて作成しております。今後、関係法令等の改正が行われた場合、内容等が変更になる可能性があります。※詳細については別途ご用意している各資料をご確認ください。※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

2022年9月1日現在

東北労働金庫 山形県本部

0120-1919-62  
(受付時間：平日 午前9時～午後5時)

住みある共済

火災共済・自然災害共済

火災には備えているけど、  
自然災害の備えはどうなってたかな・・・？

豪雨や地震、雪害などの自然災害に対する備えはできていますか？  
ぜひ、お近くのショップでご相談ください。

こくみん共済 NEWS

0622B001

山形県の  
共済ショップ

営業時間  
午前9時～午後4時(土・日・祝日除く)  
◎山形店のみ土曜も営業(午前10時～午後4時)

- ◎山形店 〒990-0827 山形市城南町1-18-22 ☎023-646-4666
- ◎新庄店 〒996-0084 新庄市大手町5-6 ☎0233-23-5995
- ◎米沢店 〒992-0012 米沢市金池3-2-7 ☎0238-22-6065
- ◎長井店 〒993-0006 長井市あら町5-36 ☎0238-83-6035
- ◎鶴岡店 〒997-0033 鶴岡市泉町8-73 ☎0235-23-6100
- ◎酒田店 〒998-0851 酒田市東大町2-6-8 ☎0234-23-3160

こくみん共済〈全労済〉山形推進本部

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。